

第 5 1 7 回（3 月定例）福崎町議会

福崎町長 尾 崎 吉 晴

皆様おはようございます。

今年は、立春に入っても寒波が襲来し、厳しい寒さが続きましたが、ようやく、つくしが顔を出す時期になり、春を感じるようになってきました。

本日、第 517 回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。令和 7 年 3 月議会の開会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

1 月 20 日、アメリカ大統領にトランプ氏が就任されました。アメリカ第一主義がますます強まる中、2 月上旬に石破首相がアメリカを訪問し首脳会談が行われました。トランプ大統領が就任後に面会される外国首脳は、イスラエルのネタニヤフ首相に次いで 2 人目でありました。日本が重要視されていることは喜ばしいことだと思います。今のところ会談に好意的な意見が多いように思いますが、世界がトランプ政権の行動をかたずをのんで注視している状況ではないかと思います。アメリカは少し力は衰えたとはいえ、世界一の超大国であります。日本には、アメリカと良好な関係を築きながら、世界平和と安定的な世界経済の発展に貢献してほしいと思います。

さて、今年は阪神・淡路大震災から 30 年の節目の年にあたります。

元日の神戸新聞に次のような記事が載っていました。「戦後の 80 年間に日本で起きた震度 6 弱以上の地震のうち、約 9 割が阪神・淡路大震災以降に集中している。日本列島は阪神・淡路大震災以降、地震の活動期に入ったとする見方がある。」というものです。昨年のも正月にも能登半島で大地震が発生しました。今後想定されている福崎町での地震の規模は、南海トラフ地震で震度 5 強、山崎断層帯地震で震度 6 弱です。一方では、気候変動の影響で台風は大型化し、集中豪雨が激甚化、頻発化しています。こういった、自然災害に対する備えをしっかりとしていかなければならないとあらためて感じているところです。

また、今年は大阪・関西万博が開催されます。前回の大阪万博は 1970 年、昭和 45 年の開催でありました。その時の目玉はといいますと、アメリカ館の「月の石」と日本の電気通信館の「ワイヤレステレホン」であったように記憶しています。「ワイヤレステレホン」は、その後、携帯電話、スマートフォンへと進化して今では私たちの生活に欠かすこ

とのできないツールとなっています。

今回の大阪・関西万博でも新しい技術が紹介されます。その一つは「空飛ぶ車」です。今回の万博ではデモ飛行にとどまるようですが、2年後には東京都心と成田空港間を商業化するとのことです。その他にも「火星の石」や「i P S心臓」の展示、一周約2kmの大屋根リングなどの見どころがあります。

世界各国から関西に多くの方がお越しになる中、福崎町をPRする良い機会だと捉えています。外国人の中には、妖怪好きの方も多いと聞いています。福崎町の妖怪による町おこしに関心を持っていただき、地域経済の活性化にもつなげていきたいと考えています。

また、令和7年度は、妖怪によるまちづくりの礎を築かれた日本民俗学の父柳田國男先生 生誕150年にあたりますので、記念事業を行ってまいります。

令和7年度予算の重点項目の1点目は「子育て支援と教育環境の充実」であります。まず、中学校の給食費の無償化を行います。学校給食費材料代高騰分は町負担とします。ただし、給食費の無償化は財源が確保できる期間とさせていただきます。次に、小・中学校体育館の空調設備整備事業に取り組みます。

2点目は「災害に強い安全・安心のまちづくり」です。

公共下水道事業として進めている福田地区の直谷第2雨水幹線工事の本体工事は完了の目途がつけました。南田原地区の川すそ雨水幹線工事は、引き続き計画的に進めます。また、緊急浚渫推進事業として、西谷川の土砂撤去を行います。

3点目は「JR福崎駅へのアクセス道路の強化」です。福崎駅田原線、千束新町線の道路新設改良事業を着実に進めます。

4点目は「広域行政施設の整備」であります。新ごみ処理施設建設事業と中播消防署の建替事業は神崎郡3町広域での合意事業ですので、確実に進めてまいります。

これらの事業に重点的に取り組んでまいります。決算は3年連続の赤字で、令和7年度当初予算も赤字となっています。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により執行できなかった事業の不用額やコロナ対応交付金の給付により3億2千万円を財政調整基金に積むことができましたが、令和4年度は1億3千万円、5年度は2億3千万円の取り崩し、6年度は最終予算で2億9千万円の取り崩し、7年度当初予算では3億9百万円の取り崩しと大変厳しい財政状況となっています。要因は何点かあります。1点目は、会計年度任用職員制度の導入による処遇改善と近年の人事院勧告による人件費の増です。2点目は、くれさかクリーンセンターの焼却炉停止による中継積み替え運搬経

費の発生と焼却費の増加、3点目は駅周辺整備事業に係る地方債の元利償還金の支払いなどがあります。令和7年度から9年度にかけては新ごみ処理施設建設事業と中播消防署の建替事業が控えており、特に、ここ3年間は厳しい財政運営を余儀なくされます。

一方で、歳入の増については、町税では、工業団地はあるものの本社の立地は少ないので、国税の法人税のような大きな伸びは期待できません。ふるさと納税では、若干の伸びを見込んでいるものの、不安定な要素もあり、見通しを立てにくい財源であります。

令和7年度は、昨年12月の全員協議会でお示した行政改革を反映した予算とさせていただきます。加えて、大変厳しい財政状況であることを住民の皆様にもご理解をいただくために特別職4人の給与カットも提案させていただいております。令和7年度は行政改革大綱の見直しの時期にあたりますので、歳出のみならず、使用料、手数料などの歳入も併せて行政改革を進めさせていただきたいと考えています。

住民の皆様にもご理解いただけるように、しっかりと広報にも取り組みますのでよろしくお願いいたします。

令和7年度一般会計の総額は、113億1,700万円で対前年度比13億8,400万円、率にして13.9%の増としました。特別会計を合わせた総額は、181億2,209万5千円で対前年度比10億7,675万円、率にして6.3%の増としました。

各課が取り組む主な事業は、次のとおりです。

【総務課】です。

柳田國男先生 生誕150年を記念して、山桃忌にあわせて柳田國男ゆかりサミットを開催します。山桃忌を楽しんでいただくとともに、柳田國男先生をきっかけに、今後の新たな自治体交流が生まれることをめざします。

また、友好都市岩手県遠野市とは、遠野市産業まつりや福崎秋まつりにおいて、それぞれの特産物の販売を行うなど、文化、教育、観光の各分野で交流を継続し、友好の絆を深めます。

福崎町議会議員選挙については、選挙公営制度（公費負担）が適用されてから2回目の町議選となります。令和7年7月に予定されている参議院議員選挙とあわせて、正確で公平・公正な執行を図ります。

庁舎管理では、庁舎照明設備改修工事を継続し、令和7年度は議場照明のLED化を

進めます。

【企画財政課】です。

令和7年度も引き続き第6次総合計画の実現に向けて各種事業に取り組みます。また、政策目標などを示す福崎町総合戦略（第3期）を策定します。さらに、持続可能な財政運営のため、継続して行政改革に取り組むとともに、第7次行政改革大綱・実施計画を策定します。

行政事務の効率化のため、自治体情報システム標準化事業に継続的に取り組みます。

【税務課】では、貴重な自主財源である町税において、税目ごとの課税客体の的確な把握と課税に努めます。

あわせて国税徴収法、地方税法、町税条例及び債権管理条例などの規定に基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより、徴収率の一層の向上をめざします。また、窓口収納の効率化を図るため、セミセルフレジを導入します。

【地域振興課】では、1年を通して各種イベントを開催し、地域を元気に盛り上げます。

春の民俗辻広場まつりは、観桜会とあわせて4月5日に開催します。夏まつりでは、第50回を記念して、花火・総おどりや夜店の出店に加えガジロウとコラボした「にゃんごすたー」の特別ステージを開催します。

秋まつりは、商工会によるステージ発表会などを行います。そして、柳田國男先生 生誕150年を記念して妖怪と和太鼓が融合した和製演劇サーカスを上演します。

冬は、好評だったF u k u ランタン事業を実施します。

また、第3回手話ダンス甲子園を9月に開催し、共生のまちづくりを進めます。

ふるさと応援寄附金事業では、寄附額の更なる増収を図るため、プロジェクトチームとともに取り組んでいきます。

商工業振興では、円安による物価高の継続、長引くロシアウクライナ情勢による収益への影響、そして後継者不足や人手不足など中小企業が抱える経営課題に対応するため商工会と連携した支援に取り組みます。

観光振興では、辻川山公園の整備とガジロウの更新、観光交流センターのレンタサイクルの更新や妖怪ベンチを増設します。

また、もちむぎの販路拡大やPR活動など「もちむぎブランド化事業」を展開します。

【住民生活課】です。

福崎町民が安全で安心に暮らせるように、福崎警察署の協力を得ながら、防犯活動を進めます。通学路の安全確保や防犯対策のため、引き続き防犯カメラを計画的に設置します。

交通安全対策では、通学路のカラー塗装など通学路危険箇所の改善に努めるとともに、標識や啓発看板等の設置、凍結防止ミラーを計画的に設置します。

窓口では、デジタル手続法や戸籍法の改正に伴い、戸籍及び戸籍附票に読み仮名をつけるため戸籍システムの改修、振り仮名照会通知を行います。また、住基システム、戸籍システムの標準化に向けての準備を進めていきます。

くれさかクリーンセンターにおいては、可燃ごみは引き続き姫路市へごみ処理委託を行います。また、神崎郡ごみ処理施設稼働後のくれさかクリーンセンターのあり方について、姫路市との協議を継続して進めていきます。

消防では、「福崎町消防団あり方検討委員会」からの提言内容に基づき、団員定数や機能別団員、女性消防団員の加入促進など消防団の活性化について検討を進めます。

【福祉課】です。

障害福祉は、障害者総合支援法に基づき、福祉サービスや相談支援について第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画に基づき手話言語条例関連事業として、町民向け手話講座の開催や手話ダンスチームの育成等を実施します。

また、基幹相談支援センター事業では、引き続き、生きづらさをかかえ引きこもり状態にある人の支援として、大人の居場所づくり事業に取り組みます。

高齢者福祉事業では、人口構造の変化や時代背景を鑑み、77歳到達者に支給していた長寿祝金事業を廃止します。88歳到達者については、事業を継続します。

介護保険事業では、高齢者を取り巻く環境の変化による課題に対応するとともに、第9期ゴールドサルビアプラン（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）に基づき引き続き事業を進めます。

【ほけん年金課】です。

町民の健康を守るため、国民健康保険、後期高齢者医療の業務を行うほか、乳幼児から高校生までの方、重度の障がいがある方、ひとり親家庭、高齢者等が安心して医療を受けられるよう、医療費のうち自己負担部分の助成を行っています。

保健センター内に設置した、こども家庭センター（ふくさきっこステーション）では、令和6年度に導入した子ども育成支援総合相談システムを活用して、支援を必要とする子ども・妊産婦などへのサポートプランを作成し、計画的、効果的に支援を実施します。

予防接種事業では、帯状疱疹が定期接種B類疾病に位置づけられることになったため、対象年齢の方に接種していただけるよう周知広報を行います。

町ぐるみ健診の受診率向上と若い世代の健康意識の向上のため、引き続き国民健康保険の被保険者、39歳以下及び75歳以上の特定健診・基本健診の負担金を無料とします。

【農林振興課】です。

令和6年度に事業の採択申請を行い、令和7年度の事業実施の採択を受けた西治地区のヤケヌケ井堰の実施設計を行います。

県営かんがい排水事業では、西光寺野の幹線かんがい排水路について、健全度の再診断を行うとともに、改修工事の実施設計を行います。

農地基盤整備では、高岡福田ほ場整備事業を推進するとともに、山崎地区ほ場整備事業の実施設計に着手します。

ため池整備事業では、町営ため池整備事業として、（南大貫）宮の池本体の改修工事を実施します。また、県営ため池整備事業として、令和5年度に採択を受けた直谷池の実施設計に着手します。

森林環境譲与税基金活用事業では、令和6年度に引き続き森林の公益的機能の保全や林業振興を目的に、町内民有林の間伐等の森林整備に補助金を交付します。

国土調査では、山林の地籍調査を引き続き推進します。

【まちづくり課】です。

道路整備事業では、通学路の安全対策として町道大貫山田線の道路改良事業を引き続き推進します。併せて、各集落内の道路改修や通行に支障をきたす危険箇所の解消を進めます。

また、道路の安全対策として、リース方式の導入による全ての道路照明のLED化に取り組めます。

河川整備事業では、河川美化事業として、県河川である市川、七種川の草刈り等を実施します。

都市計画・まちづくり事業では、「福崎町都市計画マスタープラン」の改定にあわせ、地域の実情にあった区域指定をめざし、土地利用基本計画や特別指定区域などの見直し

に引き続き取り組みます。

空家対策では、昨年6月に町全域において、県の空家等活用促進特別区域の指定を受けました。引き続き、空家活用支援事業補助及び特定空家等除去事業補助を活用しながら、空家等対策計画に基づいた総合的かつ計画的な空家対策を実施します。

【上下水道課】です。

水道事業では、八反田水管橋の耐震補強工事を継続して実施します。また、三ノ宮配水池送配水管更新工事は第三工区を繰越事業として実施します。

工業用水道事業では、七種川水管橋の更新工事に着手します。工事期間は令和8年度までの2年間で予定しています。

下水道事業の汚水整備では、農業集落排水の公共下水道への統合に着手します。令和7年度は板坂地区での工事を予定しています。

【学校教育課】です。

公立幼稚園では、保育業務支援システムを活用し、保育教諭の業務負担軽減と利用保護者の利便性の向上に努めます。

教育環境をさらに向上させるため「福崎町学校施設等長寿命化計画」に基づき中学校2校の体育館に空調設備を設置するための工事実施設計業務を委託します。

中学校の休日部活動の地域展開について、地域人材による部活動指導員を配置し、地域連携を進めます。

令和7年度から12年度にかけての「GIGA第2期」で使用するデジタル端末を令和7年度で更新し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を推進します。

小学校に不登校支援員を増員し、増加する不登校児童生徒への対策を強化します。引き続き、学習支援員、介助員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置し、教育課題の解決に取り組みます。

【社会教育課】です。

第46回山桃忌は、柳田國男先生 生誕150年を記念して、エルデホールにおいて8月2日に第1部「柳田國男生誕150年 ^{こきょう}故郷から」と題して式典、講演及びシンポジウム、8月3日に第2部「ひょうご民俗芸能祭 令和7年度ふれあい文化の祭典」を開催します。

男女共同参画社会・女性活躍を推進するための「福崎町男女共同参画基本計画」が、令

和7年度で10年間の計画期間満了となるため、次期「男女共同参画基本計画」を策定します。

青少年野外活動センターでは、熱中症などを予防するため、山小屋に空調設備を設置します。

さて、今議会に提出いたします議案等につきましては、報告2件、議案31件の計33件です。

(略)

詳細説明は、副町長、公営企業管理者ほか、担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げ、所信表明といたします。